

施策番号	1003		
施策名	市民との共汗で築く農林業		
概要	市民が農林業に触れる機会を創出するとともに、京都モデルフォレスト運動（森林から恵みを受けるすべての市民の参加により、森林を守り育てる運動）など市民と連携した農地・森林の保全活動の推進や、学校教育等での農林業を題材とした学習環境の整備、食育活動の促進を図る。		
担当局・部室	産業観光局・農林振興室	共管局・部室	
上位政策	10 農林業		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市農林行政基本方針		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		26年度	27年度	28年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	市民農園区画数(区画)	a	a	3,917	3,757	4,466	84.1%	a	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		26年度	27年度	28年度回答					
				そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう思 わない	そう思わ ない	有効回答 者数
1	市民農園や森林を守る運動、学校の体験学習などにより、京都の農林業が身近になってきている。	c	d	11 2.6%	60 14.2%	191 45.0%	120 28.3%	42 9.9%	424
2	-	-	-						
3	-	-	-						
4	-	-	-						
5	-	-	-						
		c	d	市民生活実感調査総合評価					c

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					27年度	B
	重み付け	☒ 客観指標	a	☐ 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 農林業に関心のない市民にとっては、実感しにくい施策であり、客観指標評価を重視して評価することが妥当であると考えため						26年度	B
(原因分析) 客観指標総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。							
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 ☐ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。 ・市民農園の整備や森林を守る運動等の取組が、市民生活において実感しにくい面があるため、c評価となったと考えられる。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		28年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		27年度 決算額	28年度 予算額		
1	農業啓発	28,708	6,999	良い	産業観光局
2	市民と耕す農業支援事業	17,627	14,326	普通	産業観光局
3	農とふれあう総合体験型市民農園運営事業	7,632	9,585	普通	産業観光局
4	北部振興拠点イベント実施	10,358	9,580	普通	産業観光局
5	農業・農村多面的機能強化事業	101,118	107,395	かなり良い	産業観光局
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- ・市民が農業と触れ合うことができる機会の提供やモデルフォレスト運動の推進を通じて、農林業に市民の力を活かす取組を継続していくとともに、農林業情報の提供を充実させることにより、市民生活においても施策の達成度が実感できるよう取り組む。
- ・市民農園の開設支援により、市民農園區画数の増加を図るとともに、市民が農業を身近に感じられるように取り組む。

施策名	1003	市民との共汗で築く農林業				
指標名	市民農園区画数（区画）					
担当課	農政企画課		連絡先	2 2 2－3 3 5 1		
1 指標の説明						
市内で開設された市民農園の設置区画数						
2 指標の意味						
市民の農林業に対する期待に応えるため，農業に触れる機会創出に向けた取組状況を示す指標			3 算出方法・出典等			
			事業担当課調べ			
4 数値						
	前回数値 25年度	最新数値 26年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	3,917	3,757	160区画減	4,466	京都市農林行政基本方針の目標達成のために当年度達成すべき数値＝平成20年度現況値（3,825区画）と京都市農林行政基本方針の目標数値（平成31年度5,000区画）から各年度の目標数値を等差的に算出	84.1%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		5,000	31年度	75.1%	京都市農林行政基本方針	
5 評価基準						
最新数値の目標値に対する達成度が a：80%以上 b：60%以上～80%未満 c：40%以上～60%未満 d：20%以上～40%未満 e：20%未満			6 基準説明			
			当該指標については，農業に関心を持つ市民の寄与度が高いことから，80%以上をa，以下20%刻みで基準を設定した。			
7 評価結果						
26		27		28		
a		a		a		